

件名	平成 30 年度国民健康保険の決算状況（速報値）について				
経緯	県内 27 市町村及び 1 国民健康保険組合の平成 30 年度の国民健康保険の決算状況と りまとめたので報告する。（参考 1 国保組合＝山梨県医師国民健康保険組合）				
内容	平成 30 年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	平成 30 年度	対前年度増減		平成 29 年度
	歳入総額 A	96,285,026	△13.8%	△15,477,509	111,762,535
	歳出総額 B	93,672,027	△12.6%	△13,530,064	107,202,091
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	2,612,999	△42.7%	△1,947,445	4,560,444
	国庫支出金等精算額 D	△27	△100%	△1,176,502	△1,176,529
	実質収支 (C+D)E	2,612,972	△22.8%	△770,943	3,383,915
	前年度実質収支 F	3,383,915	—		2,465,807
	単年度収支 (E-F)G	△770,943	—	△1,689,051	918,108
	一般会計等からの繰入等※ H	704,277	△24.7%	△231,231	935,508
	財政調整基金への積立金 I	2,553,396	141.6%	1,496,453	1,056,943
	実質単年度収支 (G-H+I) J	1,078,175	—	38,632	1,039,543
	※一般会計その他繰入、財政調整基金繰入および国民健康保険財政安定化基金貸付金を合算した額				
	財政調整基金保有額	7,509,001	51.0%	2,536,550	4,972,451
	○ 形式収支は 26 億 1,300 万円の黒字	歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、前年度と比較して 19 億 4,745 万円減少したものの、記録が確認できる平成 4 年度以降黒字が続いている。また、全保険者が黒字となった。			
○ 実質単年度収支は 10 億 7,818 万円の黒字	一般会計からの法定外繰入、財政調整基金の取崩・積立などを加減した実質単年度収支は、前年度と比較して 3,863 万円増加し、3 年連続で黒字となった。また、黒字となったのは 17 保険者で、前年度と同数となった。				
○ 財政調整基金保有額は 75 億 900 万円に増加	財政調整基金保有額は、前年度と比較して 51.0%・25 億 3,655 万円増加した。				
○ 平成 30 年度から県が財政運営の責任主体となり、国保財政の枠組みが変更になったことによる大幅な増減	収入については、国庫支出金が減少、県支出金が増加した。支出については、市町村の共同事業が廃止され、拠出金が減少、国民健康保険事業費納付金が新たに加わった。				
○ 保険料(税)収納率は 0.56 ポイント上昇	22 年度以降は、毎年、前年度実績を上回る状況で、30 年度の収納率は 95.12%となった。				
○ 医療費総額は前年度に比べ 16 億円減	医療費総額は 726 億円、前年度比 2.2%減となっており、被保険者の 42.3%に当たる前期高齢者の医療費は 426 億円で、全体の 58.7%を占めており、前年度比 0.5%減となった。なお、1 人当たり医療費は 35 万 5 千円、前年度比 2.5%増となっており、前期高齢者の 1 人当たり医療費は 49 万 8 千円、前年度比 1.1%増となった。				

問合せ先：福祉保健部 国保援護課 国保指導担当 直通 055-223-1466 県庁内線 3269